

## 加賀海岸林保全の取組

石川県加賀市に所在する加賀海岸林のうち、約四四〇㉔は、石川森林管理署が所管する国有林であり、藩政時代から明治・大正・昭和と長い歳月をかけて今日の海岸林が造成され、越前加賀海岸国定公園、防風保安林及び加賀海岸自然休養林として森林の持つ公益的機能を高度に発揮してきたところです。

しかしながら、近年、松くい虫による松枯れ被害(マツ材線虫病)や風雪害の発生により松林が広域にわたって枯損し、自然景観が損なわれるとともに、森林の持つ公益的機能の低下が懸念される状況にあります。

このため、当署では、関係機関との連携を図り



木製防風柵と植生保護管の設置状況

つつ、松くい虫防除対策事業「を実施し、薬剤の地上散布や樹幹注入による予防に努めるとともに、被害木を伐倒し破砕処理を行う特別

伐倒駆除や薫蒸処理を行う伐倒駆除を行っています。

また、治山事業として、「海岸防災林造成事業」を実施し、広葉樹や抵抗性クロマツを植栽し、松枯れ被害により損なわれた森林の機能の回復に努めています。

こうしたなか、松枯れ被害が広範囲かつ甚大であることから、平成一六年度には、経常の松くい虫防除対策事業と海岸防災林造成事業の実施に加え、自然景観を著しく損なっている「鴨池」周辺の松林を対象に、国土交通省所管の景観形成事業推進費を充当した海岸防災林造成事業を実施し、被害木を伐倒処理し、その跡地に広葉樹を植栽しました。

また、平成一七年度においても、



植栽木を保護する植生保護管

自然景観を著しく損なっている海岸線沿いの松林を対象に景観形成事業推進費を

充当した海岸防災林造成事業を実施し、被害木を伐倒処理するとともに、景観に配慮した木製防風柵を設置し、抵抗性クロマツと一部広葉樹を植栽しました。

なお、当該地は、地形が急峻であるため、木製防風柵の設置が困難な箇所も多く、植栽可能な箇所が限定されることから、新たな取組みとして、六角形の「植生保護管」を使用し、植栽面積を増やすとともに、植栽木を風害や潮害等から一本づつ確実に保護することにより、森林機能の早期回復に努めることとしました。

こうした取組を少しでも多くの方々に知っていただくとともに、森林造成にお力添えをいただくことを目的として、本年三月、当署主催の植樹祭を海岸防災林造成事業地において開催し、総勢二〇〇名におよぶ地元住民や地方自治体の関係者の方々の参加を得て、約一千本の抵抗性クロマツの植栽と併せて、植生保護管を設置していただきました。

こうした当署単独の植樹祭の開催に加え、平成一六年度から加賀海岸林において、地元の加賀市とイオン環境財団との共催により、「ふるさと森づくり植樹祭」を開催しており、これまでに、加賀市や県内から参加された数多くのボランティアの

ボランティアの方々による苗木植栽



方々の手により約二万本の広葉樹を植栽していただきました。

さらに、林業就労者の確保・育成・定着促進を目的とした石川県森林組合連合会による「緑の雇用担い手育成対策事業」における実地研修のフィールドとして、平成一六年度から加賀海岸林において、被害木の伐倒処理をしていただくとともに、平成一七年度には、被害木の伐倒処理に加え、「安宅の関」に隣接する安宅林国有林において、景観に配慮した松林の除伐作業等を実施していただきました。

当署においては、このように数多くのボランティアの方々のお力添えをいただきながら、加賀海岸林を保全し、森林の機能の回復に努めています。

〒九二〇・〇〇二二  
石川県金沢市安江三・一・三八  
TEL 〇五〇・三二六〇・六一〇〇  
FAX 〇七六・二二二一・六二二五  
<http://www.kinki.kokuyur.in.go.jp/ishikawa/>